

● 中部支部

中部支部では、1992年から2010年まで基本的に年に2回例会を開いて研究発表の場や講演会を設けてきました。この例会ははじめ「談話会」と呼ばれていたものが、途中で変更されてこの名称になったものです。名称変更の理由は、談話会では単なる親睦を深めるための会と誤解されかねないので、他の支部を真似て例会という名称にしたと伺いました。また原則として、当支部が大会の開催校を引き受けた場合には秋の例会はしないという方針で現在に至っています。例会では毎回、会のあとに懇親会を設けていますし、春には必ず総会を開いておりますが、ここでは詳細は省略させていただきました。日本児童文学学会中部支部と合同で秋の例会を開催してきたことを踏まえすと、現在の活動としては会員の新規開拓や近接分野との交流を図っているといえるでしょう。

中部支部談話会・例会・講演会

- 1992年5月17日(日) 13:00～17:00 談話会 於 名古屋女子大学天白学舎
 研究発表：「民話の起源に関する一考察 — “The Rose-Tree” を中心にして」
 鈴木 一博
 「エドワード・リアについて Chap. II」 山田 正己
- 1992年9月12日(土) 13:00～17:00 秋の談話会 於 鶴舞中央図書館
 研究発表：「Mary Anne Lamb と『シェイクスピア物語』」 戸田山みどり
 「スコットランド西方諸島のゲール語文化」 井川 恵理
- 1993年4月17日(土) 13:00～17:00 談話会 於 名古屋市立鶴舞中央図書館第1集会室
 研究発表：「ペネロピ・ライヴリーの *Going Back* をめぐって」 川端 有子
 「マーガレット・マーヒーの作品風土」 金子美保子
- 1993年9月19日(日) 13:00～17:00 秋の談話会 於 名古屋市立鶴舞中央図書館第1集会室
 研究発表：「R. サトクリフ『トリスタンとイゾルテ』の再話について」 酒井 萌子
 「民話・古謡の絵本について」 篠 三知雄

- 1994年4月16日(土) 13:00～17:00 談話会
 於 名古屋市立鶴舞中央図書館・第1集会室
 研究発表:「How Toys Become Real と The Toy Child Relationship について」
 山本 良枝
 「『幸福な王子』の創作のモチーフ」
 恩田 満
- 1994年9月18日(日) 13:30～16:30 秋の談話会
 於 名古屋市鶴舞中央図書館第1集会室
 研究発表:「『メアリィ・ポピンズ』に見る伝承文学」
 中村 元美
 「マザーグースの絵本について」
 篠 三知雄
- 1995年4月15日(土) 14:00～17:00 談話会 於 愛知県立大学外国語学部115教室
 研究発表:「開拓者と自然 L. I. Wilder の ‘Little House’ シリーズ」
 磯部 孝子
 ミニ講演:「美德の報酬としての結婚—童話「シンデレラ」と「パメラ」」
 玉崎 紀子
- 1995年9月17日(日) 14:00～17:00 秋の談話会
 於 愛知県立大学外国語学部115教室
 報告:「CLNE (1995) 参加報告」
 依岡 道子/川端 有子
 研究発表:「ウィリアム・メインのファンタジーの手法—Earthfasts を中心に—」
 新居 正子
- 1996年5月18日(土) 14:00～17:00 談話会 於 三重大学教育学部1号館3階LL教室
 報告:「マルチ・カルチュラル/エスニック状況におけるアメリカの絵本」
 戸田山みどり
 講演:「文学教育の現在と未来」
 愛知県立大学 難波 博孝
- 1997年4月27日(日) 13:30～16:45 春の懇話会
 於 愛知県立大学外国語学部211教室
 研究発表:「U. K. Le Guin, *The Tombs of Atuan* —娘の隷属と〈自由〉について」
 織田まゆみ
 講演:「ヴィーンのヤポニスムと世紀末のグラフィック・デザイン」
 国際日本文化研究センター助教授 稲賀 繁美
- 1997年9月27日(土) 13:30～17:00 秋の談話会
 於 名古屋女子大学天白学舎520教室
 研究報告:「『かわいそうなぞう』から Faithful Elephants へ」
 川端 有子
 講演と図書紹介:「子どもの本の揺籃期
 —本はどのようにつくられどのように子どもの手に届いたか—」
 東海学園女子短期大学教授 元公立図書館館長 矢野 有

- 1997年11月16日(日) 10:00～18:00 カナダ子ども文化祭り講演と国際シンポジウム
於 名古屋市青少年文化センター「アートピア」第一スタジオ
- 10:00 講演:「赤毛のアンが言わなかったカナダ:多文化主義・理想と現実」
サイモン・フレーザー大学 コピソン珠子
- 10:50 講演:「現代のカナダ児童文学—その文化的多様性」
ブリティッシュ・コロンビア大学 ジュディス・サルトマン
- 13:20 レポート:「子どものビデオをめぐる」 カナダ A・ケント
国際交流シンポジウム「日本とカナダ『子どもの読書活動と児童文学』」
- 13:50 第一部:「子どもの読書活動」
ジュディス・サルトマン/カナダのプロの語り手 ナン・グレゴリー/
児童書専門店 三輪 哲/名古屋明德短期大学教授 畑中圭一
- 15:50 第二部:「『赤毛のアン』の評価をめぐる」
ジュディス・サルトマン/岡山県立大学助教授 桂 宥子/
中京大学教授 原 昌
- 1997年12月20日(土) 13:30～17:10
合同臨時例会「ふたたび『ちびくろさんぼ』について考える」
(日本児童文学学会中部例会・日本イギリス児童文学会中部支部共催)
於 愛知県立大学学生会館大集会室
- 研究報告:「原書 *Little Black Sambo* について」 難波 博孝
「イギリスにおける動向」 川端 有子
「2冊のアメリカの改作本について」 今井美都子
「ちびくろさんぼをめぐる大人達の言説」 戸田山みどり
- シンポジウム:「『ちびくろさんぼ』改作をめぐる」
コーディネーター 難波 博孝
パネリスト 児童書専門店 伊藤悦子/市立図書館司書 高木奈保子/
『チビクロさんぼ』作者 森 まりも/戸田山みどり/
『焼かれた「ちびくろサンボ」』著者 棚橋美代子
- 1998年4月26日(日) 13:30～17:00 春の例会 於 中京大学会議棟大会議室
- 研究報告:「オーストラリアの絵本」 鈴木 美佐
「翻訳の諸問題について」 後 恵子

- 1998年9月19日(土) 13:30～17:00 秋の例会 於 中京大学本館第一会議室
 研究発表:「19世紀イギリス児童書の挿絵—Mrs Molesworthを中心に—」
 木原 貴子・依岡 道子
 報告:「CLNE'98 “Children and play”に参加して」 川端 有子
 研究発表:「あざらしびと再訪—伝承を育くんだ社会とその現在—」 井川 恵理

- 1999年4月25日(日) 13:30～17:00 春の例会 於 中京大学本館第一会議室
 研究発表:「*The Coral Island* 受容史の一側面—*Lord of the Flies*の検討」
 水間 千恵
 講演:「語る者／語らない者—Toni Morrisonの*Beloved*と
 Claude Lanzmannの*Shoah!*」 愛知県立大学教授 鵜殿えりか

- 2000年4月23日(日) 13:30～17:00 春の例会 於 名古屋女子大学汐路学舎南4号室203教室
 研究発表:「『黄金の鍵』と進化論」 安藤 聡
 「The Story of the Indian Gentleman Sara Creweから*Little Princess*
 —歴史的・文学的背景を中心に」 川端 有子

- 2000年10月1日(日) 13:30～17:00 秋の例会 於 名古屋女子大学天白学舎
 研究発表:「『ホビットの冒険』—女性の不在について」 渡辺 美樹
 「ヴィクトリア朝の女性イラストレーター—子どもの本の挿絵を中心に」
 依岡 道子

- 2001年4月21日(土) 13:30～16:30 春の例会 於 名古屋大学情報文化学部3階3B教室
 研究発表:「‘The Cross Purposes’から‘The Golden Key’へ
 —フェアリーテールによる信仰心のリバイバル」 小林 奏美
 講演:「鏡に映る母子像—映像メディアとアイルランド社会の今」
 愛知淑徳大学教授 大野 光子

- 2002年3月29日(金) 17:00～20:00 講演会 於 愛知産業大学名古屋サテライト
 「現代の子どものための『赤ずきんちゃん』リサイクル」 サンドラ・ベケット
 通訳:川端有子、西村淳子

- 2002年4月20日(土) 13:00～17:00 春の例会
於 中京大学本館(11号館)4階第一会議室
研究発表:「再生と変質—『続あしながおじさん』と国家身体の地政学」
中京大学 森 有礼
「ウルフの『灯台へ』—ナースとナーサリーの観点から」
静岡産業大学 岡谷 慶子
講演:「ヴィクトリア朝絵画における男性性」
愛知淑徳大学文化創造部助教授 平林美都子
- 2003年4月19日(土) 13:30～17:30 春の例会
於 愛知産業大学岡崎キャンパス1号館6階1605教室
研究発表:「ロビン・マッキンリーの世界—おとぎ話の改作と女主人公」 渡辺 美樹
講演:「映画の誕生」 名古屋シネマテーク支配人 平野 勇治
- 2004年4月24日(土) 13:00～17:00 春の例会
於 中京大学センタービル8F0803教室
研究発表:「A Pack of Lies: *Twelve Stories in One* の構造を読む」 林 早都子
「ポターとシェパードと提灯と」 大塚 菊子
講演:「女たちの植民地経験—大英帝国再考」 甲南大学教授 井野瀬久美恵
- 2004年9月19日(日) 14:00～17:00 秋の例会
於 名古屋大学文系総合館7階カンファレンスホール(702号)
研究発表:「日本のオタク文化における『ハリー・ポッター』シリーズの受容と変容」
森 有礼
講演:「2004年転換期のアニメーション」
東京工芸大学芸術学部アニメーション学科専任講師 陶山 恵
- 2005年4月16日(土) 13:00～17:00 春の例会
於 名古屋大学全学教育棟34番教室
研究発表:「おおかみは、なぜケーキを焼くのか、あるいはなぜ、ぶたはひげをそる
のか—*The True Story of the 3 Little Pigs!* についての一考察」
林 早都子
「封印された物語—Cynthia Voigt の *Elske* における *Beriel* の眼差し—」
高橋 博子
講演:「童話は帝国の周縁を舞台にする」
立命館大学大学院先端総合学術研究科教授 西 成彦

- 2005年9月17日(土) 14:00～17:00 秋の例会
 於 名古屋大学全学教育棟1階第一会議室
 ミニ講演:「英国ピカレスク小説と子ども」 篠 三知雄
 講演:「クルックシャンクの子供の世界」 愛知大学教授 清水 一嘉
- 2006年4月15日(土) 14:00～17:00 春の例会
 於 名古屋大学全学教育棟1F第一会議室
 研究発表:「ジェハンじいさんの旅～『フランダースの犬』におけるベルギー」
 井川 恵理
 バレー鑑賞:『くるみ割り人形』鑑賞
 講演:「『くるみ割り人形』の変容」
 法政大学国際文化学部教授・早稲田大学大学院客員教授 鈴木 晶
- 2006年9月30日(土) 13:00～17:00 秋の例会
 於 名古屋大学全学教育棟1F第一会議室
 研究発表:「ゲームと人—Wallace & Gromitの作品群に見る現代文明観—」
 真野 早苗
 「コラボレーションの形—WilderとLane—」 磯部 孝子
 講演:「狡猜から純真へ—近世近代フランスの子ども向け読み物における
 子ども像の変遷—」 愛知県立大学外国語学部教授 天野知恵子
- 2007年5月27日(日) 13:00～17:00 春の例会 於 中京大学4号館426教室
 研究発表:「ヴィクトリア朝の少女像—『ガールズ・オウン・ペーパー』の
 挿絵に見る少女の姿と女性の役割—」 木原 貴子
 「アメリカに渡ったJack Tales」 美濃部京子
 講演:「路上呼び売り (street cries) の世界」
 京都大学人間・環境学研究科 川島 昭夫
- 2008年5月18日(日) 13:00～17:00 春の例会 於 中京大学センタービル0602教室
 映画鑑賞会:「ドキュメンタリー『フランダースの犬』を見る」 解説:井川 恵理
 講演:「萌えるシェイクスピア:マンガが舞台を越えるとき」
 愛知教育大学教授 南 隆太
- 2008年10月4日(土) 13:00～17:00 秋の例会
 於 中京大学名古屋キャンパス0号館(センタービル)08A室
 研究発表:「*Peter Pan*とJames Barrie」 塗木 桂子
 「摂食障害と吸血鬼」 渡辺 美樹
 講演:「日本におけるイギリス児童文学の受容—「マザーグース」、
 『アリス』の受容を中心に—」 中央大学教授 川戸 道昭

- 2009年5月16日(土) 13:30～17:00 春の例会 於 中京大学センタービル
研究発表:「復活したフック: *Peter Pan in Scarlet* におけるフックの表象」
高橋 博子
「アボリジニ伝承からファンタジーの世界の創造へ
: *The Nargun and the Star* と『精霊の守り人』」 林 美千代
講演:「現代オーストラリア児童文学—地域色をめぐって—」
姫路獨協大学 外国語学部 牟田おりえ

- 2009年10月10日(土) 13:30～17:00 秋の例会
日本イギリス児童文学会中部支部・日本児童文学学会中部支部 合同開催
於 中京大学 名古屋キャンパス 2号館 222室
研究発表:「*The Owl Service* —「ふくろうであること」が示すもの—」 森野 聡子
「〈つながり〉こそが、ボクらの武器
— アニメーション映画『サマーウォーズ』論」 浅野 俊和
講演:「ホームレスの時代:「他者性」の喪失と悪の日常化」
立命館大学 佐々木嬉代三

- 2010年5月29日(土) 13:30～17:00 春の例会
於 中京大学名古屋キャンパス0号館(センタービル) 6階0602教室
研究発表:「『ハリー・ポッター』シリーズにおけるもう一人の『孤児』ネビル」
後藤由紀子
「*I Capture the Castle* におけるカサンドラ」 玉崎 紀子
講演:「子守唄の原像を求めて—スコットランド・バラ島から京都・竹田まで—」
梅花女子大学 鵜野 祐介

- 日時: 2010年9月18日(土) 13:30～17:00 秋の例会
於 愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス(会場:15A教室)
日本イギリス児童文学会中部支部・日本児童文学学会中部支部 合同開催
研究発表:「子どもの文学、その黎明期を考える
— 翻訳する女・小金井喜美子「あやしき少女」を中心に—」
青木 文美
「アニメーション『ロミオ×ジュリエット』における愛と死」 真野 早苗
講演:「少年少女表象とゼロ年代の想像力」 目白大学 久米 依子

(記・渡辺 美樹)